

令和3年度

小樽地区の巻

事務局 小樽市立朝里小学校

小樽市小学校長会は、市内17校の校長で組織されている。今年度は、転入1名、採用2名の新会員を迎え、4月8日に総会を開催し、活動方針や予算を決定するとともに、新年度の役員を選出した。



〈小樽市 保存・取り壊しで揺れる運河沿いの倉庫〉

I 本年度の活動方針

小樽市小学校長会は、小樽市教育推進計画の基本理念である「主体的に学び 小樽の未来を創る 心豊かな人づくり」の実現を目指すため、校長としての使命と責任の重要性を自覚し、職能の向上に努めるとともに、小樽市民の負託と家庭・地域の信頼に応えることのできる小学校教育の推進及び小樽市の教育振興に寄与することをめざして活動している。

これまで本会は、年度の重点施策と小樽市校長会として掲げる共通目標の実現を活動の中心に据えながら、組織的に取組を進め、成果を上げてきた。

とりわけ、中学校長会と連携した「学校運営の強化」「小中一貫教育の推進」「業務改善の推進」については、市内の小中学校が一体となった取組を進め充実を図ることができた。また、人材育成についても小中学校長会で連携して「次代を担う人材育成研修の推進」に取り組み、人材発掘及び職能向上に努めている。

さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、前例のない対応に迫られる中、校長会として積極的な情報発信や交流を行うことで、学校における感染予防対策や教育活動の推進について等、各校長が判断・決定する上での一助を担った。GIGAスクール構想推進に伴う準備等についても、小樽市教育委員会の指導のもと、本会事務局が中心となって情報発信、情報共有を行うことにより、「学校における新しい生活様式」に基づいた教育活動の推進やタブレット端末活用体制の準備を進めることができた。

「予測困難な時代」であり、新型コロナウイルス感染症により、一層先行き不透明となる中、一人一人が答えのない問いにどう立ち向かえるかが問われている。今後も、われわれは、主体的に考え、協働し、納得解を生み出す力を子どもたちに育むため、強い使命感とリーダーシップをもって学校改善に努めていかなければならない。

また、後志教育局や市教委等、教育関係機関との連携を深め、課題の本質を的確に捉え、会員への適切な情報提供と相互の意見交換等を大切にしながら、小樽市中学校長会と一体となって課題に対応していくことができるよう組織的かつ機能的な校長会の運営に努めていかななくてはならない。

われわれは、今年度も重点施策を中心に据えながら、複雑化・多様化する教育課題に対して、校長自ら研鑽に励み、「令和の日本型学校教育」「働き方改革」の視点を持ちながら全教職員が協働して組織的に対応できる体制を整備し、活力に満ちた学校づくりを進めるとともに、学習指導要領の進行管理や小中一貫教育の推進、小学校高学年教科担任制を進めるなど、新たな課題とも向き合い、その解決に向けて校長の英知を結集して取り組んでいく。

II 活動の重点

1 活動方針

① 校長として、その責務を自覚し、学校経営の充実に資する研究活動を推進し、学校経営の専門職としての職能の向上に努める。

研究・職能向上

②教育関係機関及び中学校長会との密接な連携を図り、教育課題を迅速・的確に把握し、総力を結集して課題解決にあたる。

連 携

③本市教育の喫緊の課題の改善を図る取組を組織的に進めるとともに、学習指導要領の全面実施を円滑に進める。

学習指導要領

④中学校長会と連携し、校長会として学校の組織力強化を図り、そのために教頭等の学校マネジメント能力を高める研修の機会を充実させ、次世代を担うスクールリーダーの育成を図る。

人材育成

⑤関係機関との連携を密にし、感染予防を含めた危機管理体制の整備・充実のための情報共有に努める。

危機管理

2 重点施策

- ① 中学校長会と連携した共通目標（共通の取組）の推進
- ② 令和3年度道小石狩・千歳大会に向けた共同研究体制の構築と研究推進
- ③ 小樽市における「危機管理体制」や「GIGA スクール構想」の取組の推進
- ④ 会員数に見合った小学校長会の組織体制や運営の改善
- ⑤ 次世代を担う教職員の資質・能力の向上と管理職人材の確保・発掘

III 各部の活動方針

1 組織部

子どもが安心して日常生活を送ることのできる安全な環境をつくるため、小・中・高校及び関係諸団体などとの連携を密にし、子どもたちの健全育成並びに教育環境の充実や学校経営の改善に資する業務推進に努める。

2 研修部

全連小及び道小の教育研究大会に関する活動や学校経営に関わる研修活動の推進を通して、校長としての一層の職能向上を図る。

3 厚生部

小樽市小学校長会の方針に基づき、学校給食及び学校保健・安全の向上を図るとともに、会員及び教職員の福利厚生の実施と親睦に努める。

IV 役員

会 長	大 坂	充	(稲穂小)
副 会 長	銭 谷	美 毅	(奥沢小)
	谷 本	慎 司	(手宮中央小)
監 査	嘉 山	嘉 紀	(忍路中央小)
	小 林	稔 史	(銭函小)
事 務 局 長	遠 藤	隆 典	(朝里小)
事務局次長・会計	加 藤	広 子	(潮見台小)
組 織 部 長	古 田	優 子	(望洋台小)
研 修 部 長	渡 辺	琢 史	(長橋小)
厚 生 部 長	水 口	正 紀	(桜小)